2020年度医学部保健学科

1. 医学部保健学科教育

保健学科は2002(平成14)年度に開設し、本年度は第15回生が卒業した。

開設以来、教務委員会を中心に本学科の教育理念・教育目標、ディプローマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、そしてアドミッション・ポリシーに則って、看護師・助産師・保健師・理学療法士・作業療法士学校養成施設指定規則をもとに、教育内容の精選およびカリキュラム改正を実施してきた。

2019(令和元)年度、厚生労働省による「看護基礎教育検討会報告書」が示され、看護師は総単位数を97単位から102単位へ、保健師および助産師は総単位数28単位から31単位への変更となり、2022年度から適用されることとなった。看護学専攻では、1年前倒しで2021(令和3)年から適用に向けて、看護学専攻カリキュラムWGを立ち上げ、教育内容の充実を図り、カリキュラム変更を行った。これまでに見出した更なる教育課程の充実ために必要な改善点を整理し、質の高い教育内容にするため、教育の効率化と領域横断科目の設定、地域の多様な保健医療資源での実習展開、地域包括ケアシステムおよび多職種連携・チーム医療に係る学びの充実による教育課程の変更を行った。看護学専攻における保健師教育課程は2017(平成29)年度入学生より学部での教育を廃止し、今後は、2021(令和3)年度より大学院教育への移行を予定している。

理学療法学ならびに作業療法学専攻では、理学療法士・作業療法士学校養成施設指定規則の改正に伴う新カリキュラムの改訂を行った。新カリキュラムは、2020(令和 2)年度入学生より適用している。

(2020年度 保健学科長:澤井照光、教務委員長:江藤宏美、学生委員長:井口茂、入 試委員長:折口智樹)

A. 教養教育(表 1)

2020(令和 2)年度は、全学モジュールでは 9 科目、学部モジュールで 7 科目を開講した。また、必修科目、全学モジュール科目、自由選択科目の講義を分担者として携わった。初年次セミナーでは、計 10 名の教員が医 (医学科、看護・理学・作業) 歯薬混成チームの学生を担当しテーマ学習を進めた。最終的には発表会を設け各チームの情報共有を図っている。

B. 専門教育

専門科目は、看護学専攻では、「専門基礎科目」「専門分野I」「専門分野II」「統合分野」「統合ケア科目」で構成している。「統合分野」は専門分野で学習した内容をより臨床実践に近い形で学習し、知識・技術を統合する内容である。理学療法学専攻では、「専門基礎科目」「基礎理学療法学」「臨床理学療法学」「臨床実習」「卒業研究」「統合ケア科目」、作業療法学専攻では、「専門基礎科目」「基礎作業療法学」「臨床作業療

法学」「臨床実習」「卒業研究」「統合ケア科目」で構成している。

1) 共修科目

本学科では、経年的にチームアプローチ教育を目指した共修科目を設定している。

医学科との共修科目は、1年次「入門科目」、2年次「医療と社会I」、3年次「医療と社会II」である。1年次の「入門科目」では、学習準備状況を考慮し、1か月遅らせて5月から開始した。各専門職の講義に続き、病院実習では入学3か月後の体験であるが、早期体験実習としての意義は大きく、学習への動機づけになっている。医学科との混成チームで1グループ10~16人で、長崎大学病院はじめ市内10病院にご協力いただいているが、2020年度はコロナ禍で病院訪問を中止し、学内演習に切り替えて実施した。「医療と社会I」は講義およびセミナー形式であり、講義は医学科と共修し、セミナーでは医学科及び純心大学と共修している。4年次の「医療と社会II」では、健康問題を医療と社会との関連から広く捉えなおすことができることを目的として、一部の科目を医学科と共修している。

また、保健学科 3 専攻の共修科目において、「統合ケア実習」は多くの施設に協力を 頂きグループ実習を展開している。その後に開講されている「離島の暮らしと保健医療」 で「統合ケア実習」の学びを共有し、チームアプローチ教育の最終まとめとしている。

2) 専門科目

講義から学内演習、そして臨地・臨床実習、セミナーから卒業研究(看護では看護の科学的探究I・II)と系統的・発展的に学ぶ学習形態をとっている。講義科目は1単位15 時間、演習科目は30 時間を基本とし、学生の自主学習時間を確保するともにLACS(Learning Assessment & Communication System)や e ラーニングを活用するなど授業方法の工夫を行っている。また、臨地・臨床実習へ向けて、シミュレーションを活用した学内演習に力を入れ取り組んでいる。セミナー・卒業研究では、これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力が養える。研究のプロセスを学び、抄録の作成、その成果を発表し、限られた時間で効果的に展開している。

2020(令和 2)年度卒業生(令和 3 年 3 月卒業生)の国家試験の合格率は看護学専攻において看護師は100%、助産師100%であった。理学療法学専攻は100%、作業療法学専攻は89.5%であり、いずれも全国平均合格率を上回った。

3) 臨地・臨床実習

臨地・臨床実習は医療専門職育成において不可欠な学習課程である。2020(令和 2)年度は、コロナ禍であり通常とおりの実習は困難であったが、オンライン実習やシミュレーターやモデル人形を用いた学内演習を取り入れた実習を行った。(表 2)。臨地・臨床の現場は個別的で、複雑であり、さらにダイナミックであり学内で学んだ知識・技術をそ

のまま使えることは少ない。その場その時の状況を深く洞察して、現実にあわせて適応できる柔軟な応用力・判断力が必要になる。その中で、学生は患者との関係づくりで悩み、また医療専門職者としてのアイデンティティが混乱し、進路に迷う学生もでてくる。学習環境の整備、学習進度の配慮等、教員と病院指導者が連携を強化し学習を支援している。同時にカウンセラーを2回/週配置し、また教員による「なんでも相談員」を配置し、学生のサポート体制を整えている。

4)編入学制度

2020(令和2)年度は、看護学専攻に3年次編入生を1名受け入れた。

(文責:医学部保健学科 2020年度教務委員長 江藤宏美)

表1 令和2年度医学部保健学科教員の教養教育への参画

A. 教養教育授業科目担当の医学部保健学科教員

| 分 野 | 授 業 科 目 | 担当教員 |
|------------|-----------------|-----------------------|
| 必修科目 | 初年次セミナー | 本田純久、平野裕子、中尾理恵子、辻麻由美、 |
| | | 横尾誠一、浜﨑美和、坂本淳哉、平瀬達哉、 |
| | | 村田潤、森内剛史 |
| | 健康・スポーツ科目: | 大石和代、森藤香奈子、佐々木規子、 |
| | 健康科学 | 永橋美幸、江藤宏美、宮崎あすか |
| 全学モジュール科目: | モジュール I:必修 | |
| 「健康と共生」 | 人の健康について | 折口智樹、澤井照光、田中貴子 |
| 責任者:折口智樹 | 社会における精神健康 | 永江誠治、キット彩乃 |
| | 大学生のための健康社会学 | 平野裕子 |
| 全学モジュール科目: | モジュールⅡ:選択 | |
| 「青壮年期における | 育児リテラシー入門 | 永橋美幸、宮崎あすか、上野美穂 |
| 健康課題」 | 仕事と健康 | 松浦江美、三浦沙織 |
| 責任者:松浦江美 | 青年期の健康・体力増進 | 田中貴子、永江誠治、平瀬達哉、本多直子 |
| 全学モジュール科目: | モジュールⅡ:選択 | |
| 「ハンディキャップ | 共生へのチャレンジ | 村田潤、森内剛史 |
| の理解」 | 老いと健康 | 井口茂、横尾誠一、森内剛史 |
| 責任者:井口茂 | 障害体験と支援 | 東登志夫、中尾理恵子、平瀬達哉 |
| 全学モジュール科目 | 発達症(発達障害)の理解と支 | 岩永竜一郎 |
| | 援 (選択) | |
| | ヒトはなぜ病気になるのか(選 | 佐藤克也 |
| | 択) | |
| | 健康と医療の安全・安心(選択) | 江藤宏美 |
| | 医療現場の安全と安心 (選択) | 吉田浩二 |

| | 医療現場の安全と安心(選択) | 石松祐二、佐々木規子 |
|-----------|----------------|----------------------|
| | コミュニケーションの生物学・ | 田中悟郎、徳永瑛子 |
| | 臨床医学(選択) | |
| 学部モジュール科目 | モジュール I : 必修 | |
| | 被ばくと健康 | 永田明、上野和美、大山祐介 |
| | 障害とインクルージョン | 田中悟郎、神津玲、沖田実、徳永瑛子 |
| | 健康を支える家族と社会 | 平野裕子、本田純久、大町いづみ、大山祐介 |
| | モジュールⅡ:選択 | |
| | 暮らしと環境 | 石松祐二、大石和代、田中準一、 |
| | | 横尾誠一、キット彩乃 |
| | 人の発達と成長 | 鶴崎俊哉、森藤香奈子、岩永竜一郎 |
| | 健康と運動 | 坂本淳哉、浜﨑美和、辻麻由美 |
| | 認知症・高齢者を考える | 佐藤克也、井口茂、吉田浩二 |
| 自由選択科目 | ボランティアを通して地域を | 井口茂、永橋美幸 |
| | 知る | |
| | 特別な支援を必要とする子ど | 田中悟郎、岩永竜一郎、徳永瑛子 |
| | もの理解 | |
| | | |

B. 教養教育関連委員会の医学部保健学科委員

| | 委 員 会 | 委 員 |
|-------|-----------------|-------|
| 教務委員会 | | 江藤宏美 |
| | 教養教育実施専門部会委員 | 井口茂 |
| | 評価・FD教育改善専門部会委員 | 本田純久 |
| | モジュール科目小委員会委員 | 井口茂 |
| | 健康・スポーツ科学小委員会委員 | 森藤香奈子 |

表 2. 令和 2年度医学部保健学科臨床実習施設一覧

| 専攻等 | 実習名 | 実習施設 |
|-------|-----------|----------------------------|
| 看護学専攻 | 基礎看護学実習 I | 新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン講義等で |
| | | 対応 |
| | 基礎看護学実習Ⅱ | 長崎大学病院 |
| | 成人看護学実習 I | 長崎大学病院 |
| | 成人看護学実習Ⅱ | 長崎大学病院 |
| | 小児看護学実習 I | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| | 小児看護学実習Ⅱ | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| | 母性看護学実習 | 長崎大学病院 |
| | 老年看護学実習 I | 長崎リハビリテーション病院 |

| | (オンラインにて実施) | 長崎北病院 |
|----------|----------------------|---------------------------------------|
| | | 昭和会病院 |
| _ | 老年看護学実習Ⅱ | 健昌会ぐる一ぷほーむ新里油木 |
| | (オンラインにて実施) | 健昌会ぐる一ぷほーむ新里城栄 |
| | | 健昌会ぐる一ぷほーむ新里小江原 |
| | | 民家型宅老所ぽ~れぽ~れ松が枝 |
| | | 特別養護老人ホーム サンハイツ |
| | | 特別養護老人ホーム 青葉苑 |
| | | 社会福祉法人純心聖母会恵の丘長崎原爆ホーム別館 |
| | | 地域密着型特別養護老人ホーム 緑風 |
| | | 特別養護老人ホーム 鶴舞苑Ⅱ |
| | 精神看護学実習 | 長崎ダルク |
| | (オンラインにて実施) | 心澄 |
| | (オンノイン(こく天旭) | のぞみ共同作業所 |
| _ | 在宅看護学実習 | のてみ共同15条例 フランシスコ訪問看護ステーション |
| | <u> </u> | カノンシスコ初向有護スノーション 訪問看護ステーションひまわり |
| | | 訪問看護ステーションひまわり |
| | | |
| | | 訪問看護ステーション YOU |
| | | 十善会訪問看護ステーション 訪問看護ステーションあんこう |
| | | |
| | | 訪問看護ステーションさくら |
| | | |
| _ | 国際促使学生羽 | 原爆病院訪問看護ステーション 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 |
| | 国際保健学実習 | |
| <u> </u> | 基礎理学療法学実習I | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| _ | 基礎理学療法学実習Ⅱ | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| | 総合臨床実習 I | 長崎大学病院 |
| | | 田上病院 |
| | | 長崎県立こども医療福祉センター |
| | | 長崎記念病院 |
| | | 長崎リハビリテーション病院 |
| | | 長崎北病院 |
| | | 佐世保中央病院 |
| | ΛΛ Λ F L | 長崎百合野病院 |
| <u> </u> | 総合臨床実習Ⅱ ※A なたまま習w | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| | 総合臨床実習Ⅲ | 長崎大学病院 |
| | | |
| | | 長崎リハビリテーション病院 十善会病院 |

| | | 田 4 安陸 |
|---------|-------------|---------------------------|
| | | 田上病院 |
| | | 長崎記念病院 |
| | | 長崎北病院 |
| | | 長崎百合野病院 |
| | | 光晴会病院 |
| | | 長崎県立こども医療福祉センター |
| 作業療法学専攻 | 身体障害作業治療学実習 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| | 精神障害作業治療学実習 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| | 発達障害作業治療学実習 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| | 臨床実習 I | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| | 臨床実習Ⅱ | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| | 総合臨床実習I | 長崎大学病院 |
| | | 長崎記念病院 |
| | | 長崎北病院 |
| | | 長崎県立こども医療福祉センター |
| | | 長崎市障害福祉センター |
| | | 三川内病院 |
| | | 佐世保市子ども発達センター |
| | | 杠葉病院 |
| | | 長崎慈光園あすなろ |
| | | ふわり諫早 |
| | 総合臨床実習Ⅱ | 新型コロナウイルス感染症拡大のため学内演習等で対応 |
| | 総合臨床実習Ⅲ | 長崎大学病院 |
| | | 長崎リハビリテーション病院 |
| | | 長崎記念病院 |
| | | 長崎北病院 |
| | | 屋光リハビリテーション病院 |
| | | 長崎県立こども医療福祉センター |
| | | みさかえの園あゆみの家 |
| | | みさかえの園むつみの家 |
| | | 長崎慈光園あすなろ |
| | | なごみの杜 |
| | | のぞみ共同作業所 |
| | | うさぎのもり |
| | | ふわり諫早 |
| 統合ケア科目 | 統合ケア実習 | 介護老人保健施設 三原の園 |
| | (オンラインにて実施) | 介護老人保健施設 中の里 |
| | (タマノゴマにく大心) | 介護老人保健施設 リハビリセンターふくえ |
| | | 介護名八休健旭設 リハヒリセンターふくえ |

| | | 介護老人保健施設 ガイアの里 |
|------|------|-----------------------|
| | | 特別養護老人ホーム サンハイツ |
| | | フランシスコ 訪問看護ステーション |
| | | 長崎県看護協会訪問看護ステーション YOU |
| | | 訪問看護ステーションさくら |
| | | 訪問看護ステーション太陽 |
| | | 長崎県対馬病院 |
| | | 長崎県上対馬病院 |
| | | 平戸市民病院 |
| | | 池田病院 |
| | | 長崎市障害福祉センター |
| | | 三原台病院通所リハビリテーション |
| 入門科目 | 病院実習 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 |